

ジャパンウッドステーション・台北の利用・運営の開始について

一般社団法人 日本木材輸出振興協会

1. ジャパンウッドステーション・台北の設置経緯と概要

当協会は、台湾における日本産木材製品の認知度向上と販路開拓を通じ、現地の事業者や一般消費者に対して「安全、健康、高品質」の日本産木材製品の利用推進を図るため、林野庁の木材輸出特別支援事業を活用し、日台の業界団体や企業の関係者の協力を得て、スギ、ヒノキ等を使用した構造部材、内外装材、家具、和室等を展示・PR する施設「ジャパンウッドステーション・台北」（以下、JWS・台北を略称する。）を設置し、12 月 15 日に利用・運営をスタートしました。これは、平成 28 年 10 月に設置の「ジャパンウッドステーション・ホーチミン」に続くものです。

ジャパンウッドステーション・台北の概要

所在地	台北市北投区明德路 296 号
展示用延床面積	約 80 m ² （9 階建て RC 建物の 1F）
主要展示部材	<p>製材品：角材、板材</p> <p>軸 材：柱、梁桁、土台、構造用集成材、構造用 LVL、構造用合板、CLT 等</p> <p>面 材：合板、LVL、CLT、スギ・ヒノキパネル等</p> <p>造作材：羽目板、造作用 LVL</p> <p>家 具：スギ・ヒノキ家具</p> <p>その他：サーモウッド、プレカット躯体、磨丸太、絞丸太、和室等</p>





ジャパンウッドステーション・台北の一部

2. 開所式等について

JWS・台北を展示施設の拠点とした販売促進活動の一環として、12月15日に開所式を開催しました。出席者は、日本側、台湾側の関係者を合わせて50名余りとなりました。

また、当日の午後、現地の業界関係者等50名余りを対象に、「2017日本産木材製品利用促進セミナー」を開催し、双方の専門家・有識者より、日本の製材品輸出仕様の概要とスギ・ヒノキ製材品の利用、高機能の木製エクステリア建材の利用事例、日本の中層・大規模木造建築、日本におけるCLTの現状及び展望、景観設計造園における木質建材の利用可能性について説明しました。

3. 協力団体・企業について

JWS・台北の設置にあたり、以下の日台の団体・企業からの協力を得ました。

方智股份有限公司、院庄林業株式会社、岡山高次木材加工組合、越井木材工業株式会社、一般社団法人全国 LVL 協会、一般社団法人日本 CLT 協会、銘建工業株式会社、株式会社丸紀、株式会社たかやま、株式会社モーニン、株式会社馬場木工、建築工房カナヤ株式会社、新日緑建材股份有限公司、老圃造園工程股份有限公司 等

お問い合わせ先

一般社団法人日本木材輸出振興協会 事務局	
担当者	岩佐、川面
TEL	03-5844-6275
E-mail	info@j-wood.org
ジャパンウッドステーション・台北	
担当者	陳 洪平、蔡 昊剛
TEL	+886-2-2823-9513 (886は台湾の国番号)
E-mail (蔡 昊剛)	howard@eastern-horizons.com